

2023.7.18

令和5年度 家庭教育学級

【ペットボトルベジ栽培ワークショップのご報告】

桜町小学校PTA研修委員会

令和5年7月4日(火)多目的室にて、自然栽培で野菜を育てていらっしゃる、公民館、幼稚園などでペットボトルベジ栽培の講座をされている堀部直美先生を講師としてお招きし、本年度家庭教育学級「ペットボトルベジ栽培ワークショップ」を実施しました。

○会次第

1. 開会の言葉
2. 研修委員長挨拶
3. 副校長挨拶
4. 講演&ワークショップ：
千葉県市原市立国分寺公民館勤務 自然栽培の会 堀部直美先生
5. 質疑応答
6. 総括：世田谷区教育委員会 生涯学習課・社会教育指導員 田村様

○参加者について

- ・参加者人数 19名（社会教育指導員、研修委員含む）
2年生保護者6名、3年生保護者5名、4～6年保護者7名

○当日の様子

副校長先生の挨拶では、桜町小でも2年生が昨年朝顔で使った鉢を使ってミニトマトを育てていることや6年生が屋上で野菜を育てていること等をお聞きし、学校全体でも野菜栽培への関心が高いことを伺いました。

堀部先生の講演では、家庭菜園や野菜との関わりがどのくらいあるのかを参加者にお聞きし和んだ雰囲気スタートしました。スーパーの野菜売り場に並んでいる野菜の特徴からF1の種、固定種の種の違いについて教えていただきました。種から芽が出てきて実になり、私達が食べる野菜に育ち、その後花が咲き、またそこから種ができる植物の循環をお聞きし、身近な野菜のことでも知らないことがたくさんありました。14種類の種（かぼちゃ・お茶・パクチー・ポンカン・大豆・おくら・小松菜・ゴーヤ・ダイコン・ごぼう・ほうれん草・スティック春菊・米・椿）を見てこれは何の野菜なのか、クイズ形式でみな

さんにお答えいただく中でも初めて見る種もあり驚きの連続でした。

肥料もいらない、除草もしない、固定種の種から育てる自然栽培についてもお話しされ、健康な土であれば、野菜は育つこと、日・水・土の3要素が大事であることを学びました。

実践編のワークショップでは、ペットボトルの上部を切って、底に穴をあけ、土を入れ、種を蒔きました。(小松菜・二十日大根) 野外の自然栽培では草や野菜が共存していること、自然界全体のお話を伺い、普段聞くことのできない貴重なお話を聞くことができました。畑経験者も、ベランダでの家庭菜園で失敗した経験がある方や初めての方も子どもたちと家族で野菜作りにチャレンジしたいと意欲的で、終始楽しみながらご参加いただきました。

○参加者のご意見

- ・子どもたちと楽しみながら育てたいと思います。本日はどうもありがとうございました。
- ・自然の良い土を選ぶことが大切だと思いました。
- ・種まきから収穫までの期間別で簡単にできるペットボトル栽培向きの野菜一覧がほしいです。ミントがとても楽しみです。庭がいいにおいになりそうです。小松菜やダイコン、いつ収穫できるのかドキドキですが、子どもとワクワクしながら毎日話しかけて育てたいと思います。
- ・貴重な体験でした。まずは今日植えた大根が育つのが楽しみです。ありがとうございました。
- ・野菜という植物について本当に何も知らなかったことに驚きました。子どもともっと本来の自然について共有したいと思います。本日はありがとうございました。
- ・本日はとても勉強になり、良い経験になりました。たくさんの種を見せていただき、これから自宅で色々な野菜作りにチャレンジしてみたいと思います。
- ・手軽でびっくりしました。いろいろな種をまけたらいいなと思います。
- ・家にあるペットボトルを使って、いろんな野菜づくりに挑戦してみようと思います。子どもと一緒に楽しみます。このミントもふやすぞー♡ありがとうございました。
- ・お話もとても面白くリフレッシュになりました。市原の畑にもいつか訪れてみたいです。世田谷にまた来てほしいです。
- ・このまま芽が出てきてくれたら手軽にできて良いなと思います。楽しかったです。ありがとうございました。
- ・楽しかったです。
- ・収穫が楽しみです。

○追記

- ・ワークショップの後、机・椅子の消毒や片付けにも参加者の皆さまが積極的に協力してくださいました。
ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。